

PRESS RELEASE

全国のそうごう薬局グループで、環境配慮型素材を使用したレジ袋に切り替え
～2020年6月1日より本格導入開始～

当社グループの総合メディカル株式会社（代表取締役 社長執行役員 貞久 雅利、以下 総合メディカル）は、海洋プラスチックゴミの削減や温暖化防止など、環境に配慮した取り組みの一環として、全国のそうごう薬局グループ約720店舗で使用する純プラスチック製のレジ袋の使用を取りやめ、2020年6月より環境配慮型素材を使用したレジ袋に切り替えます。



【背景】

海洋プラスチックなどによる環境汚染が世界的課題となっていることを背景に、そうごう薬局グループでも店舗から排出されるプラスチックごみの量を削減するため、この度、従来のプラスチック製のレジ袋から、バイオマスプラスチックを配合した環境配慮型素材のレジ袋に変更することを決定しました。

【バイオマスプラスチックとは】

バイオマスプラスチックとは、植物などの再生可能な有機資源を原料に作られる新しいプラスチックで、限りある石油などの化石資源に頼らずに持続的に作ることが可能です。また、バイオマスプラスチックは、焼却しても二酸化炭素の総排出量を抑えられるため、地球温暖化の防止にもつながります。さらに、石油由来のプラスチック同様、さまざまな方法でリサイクルすることで、ごみを削減することができます。

【変更概要】

- 変更時期： 2020年6月～
※試行期間として、2019年11月より一部店舗において使用感や強度について検証をおこなっています。
- 変更店舗： 全国のそうごう薬局グループ 722店舗（2020年3月1日現在）

今回のレジ袋切り替えにより、そうごう薬局グループにおけるプラスチック使用量は、年間約20トンの削減を見込んでいます（メーカー試算）。また、各店舗においては、マイバッグの使用を推奨するなど、患者さんにもプラスチック削減に向けたご協力をいただけるよう、さまざまな働きかけや取り組みをおこなっていく予定です。

当社グループは、今後も地域のお役に立てるさまざまな取り組みで皆さまの健康をサポートしていくとともに、持続可能な社会をめざして、引き続き環境への取り組みを積極的に推進してまいります。なお、本取り組みにより、SDGs（Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標）の以下3つの目標達成に貢献します。



【本件に関するお問い合わせ先】

総合メディカルホールディングス株式会社 広報 IR 部 橘田
東京都千代田区大手町一丁目7番2号
TEL：03-5255-6620